

内川河川整備計画（変更原案）

説明資料

令和5年11月27日

1 流域及び河川の概要

- ・ 内川の概要

2 河川整備の現状と課題

- ・ 過去の水害発生状況
- ・ 河川の整備状況

3 河川整備計画の目標及び実施に関する事項

- ・ 洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

4 パブリックコメントの実施結果

1 流域及び河川の概要

- ・ 内川の概要

2 河川整備の現状と課題

- ・ 過去の水害発生状況
- ・ 河川の整備状況

3 河川整備計画の目標及び実施に関する事項

- ・ 洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

4 パブリックコメントの実施結果

1 流域及び河川の概要

- ・ 内川流域の概要

2 河川整備の現状と課題

- ・ 過去の水害発生状況
- ・ 河川の整備状況

3 河川整備計画の目標及び実施に関する事項

- ・ 洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

4 パブリックコメントの実施結果

<水害>

内川沿川は地盤が低く、高潮により被災しやすい地形となっている。

このため、台風等により、水害に見舞われてきた。



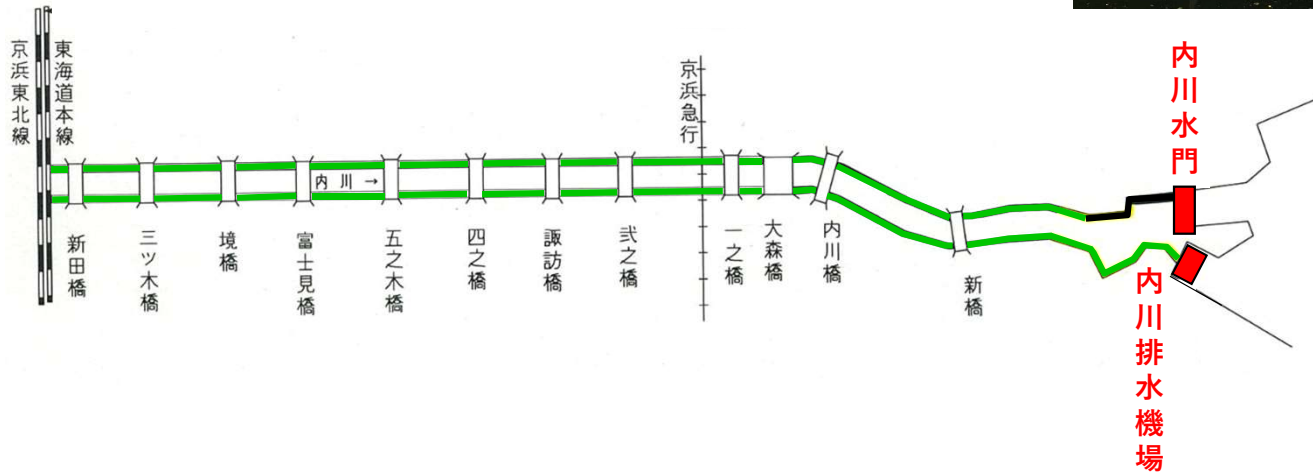
昭和42年から44年に内川水門及び内川排水機場の整備を完了させたことにより、近年では高潮による被害は発生していない。



内川水門（下流から望む）



内川水門（上流から望む）



高潮の要因	最高潮位	測定地点
昭和54年台風20号	A.P.+3.55m	亀島川水門付近
平成13年台風15号	A.P.+3.15m	亀島川水門付近
平成29年台風21号	A.P.+2.98m	亀島川水門付近
【参考】昭和24年キティ台風	A.P.+3.15m	中央区明石町

<河道の整備状況>

○洪水対策

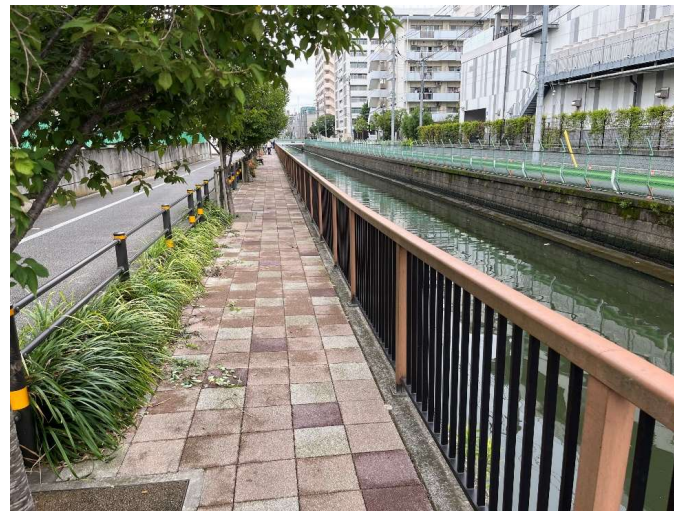
内川は水源を持たず、東海道線本線より上流の下水道からの流入のみとなっており、下水道からの放流量18m³/sの流下能力が確保されている。

○河川の親水性

管理用通路の整備においては地元関係機関と連携し、水辺に親しめる歩道としての利用に配慮し、親水性の向上に努めている。また、上流部の一部区間においては動植物の環境に配慮した整備を実施し、下流部においては多様な生物の生息、生育環境に配慮した整備を実施している。



JR東海道本線 交差箇所



親水護岸の整備事例①



親水護岸の整備事例②

<高潮事業>

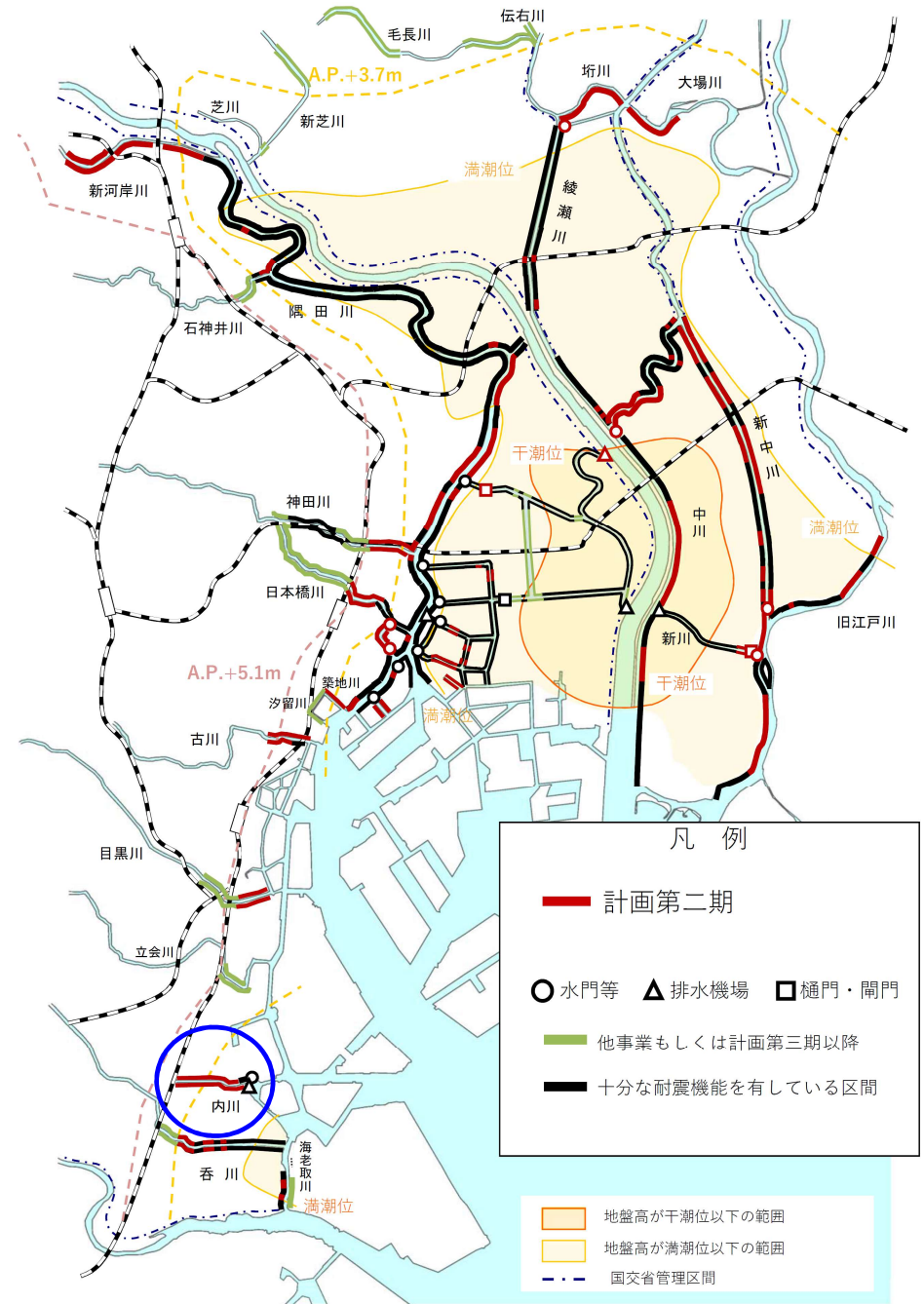
河口部は水門及び排水機場の整備が完了しており、昭和34年の伊勢湾台風と同規模の台風が、東京湾や主要河川に対して最大の被害をもたらすコースを進んだ時に発生する高潮（A.P.+4.1m）に対して安全なものとなっている。

<耐震対策事業>

東京都では、平成7年1月の阪神・淡路大震災を契機に内川においては大森橋下流で平成17年度から平成21年度にかけて耐震対策を実施してきた。

平成23年3月の東日本大震災を受け、平成24年12月に東部低地帯の河川施設整備計画を策定、令和3年12月には第二期計画を策定した。内川では、第二期計画に基づき、護岸の耐震化を図っていく。

内川護岸（新田橋下流）



1 流域及び河川の概要

- ・ 内川流域の概要

2 河川整備の現状と課題

- ・ 過去の水害発生状況
- ・ 河川の整備状況

3 河川整備計画の目標及び実施に関する事項

- ・ 洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

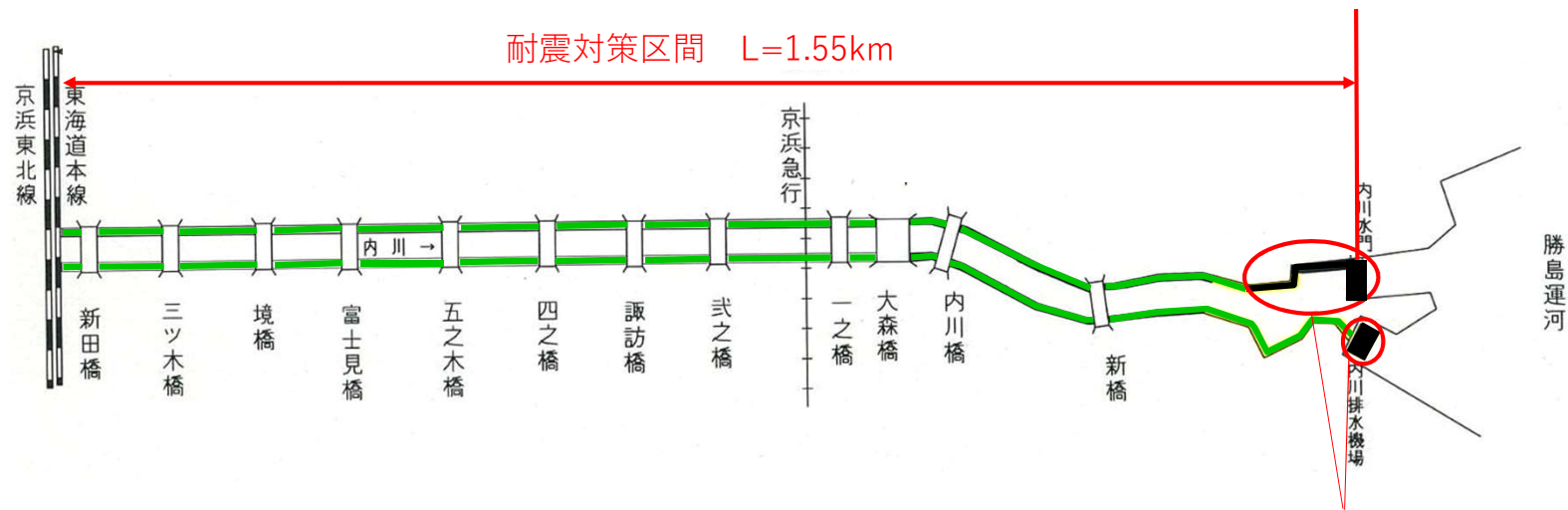
4 パブリックコメントの実施結果

耐震・耐水対策（新たな計画策定に伴う計画変更）

令和3年12月に策定した

「**東部低地帯の河川施設整備計画（第二期）**」に基づき対策を実施

- ・将来にわたって考えられる最大級の地震動に対して、護岸と水門等の機能を保持し、津波等による浸水を防ぐために、耐震・耐水対策事業により、今後、護岸等の耐震性を確保していく。



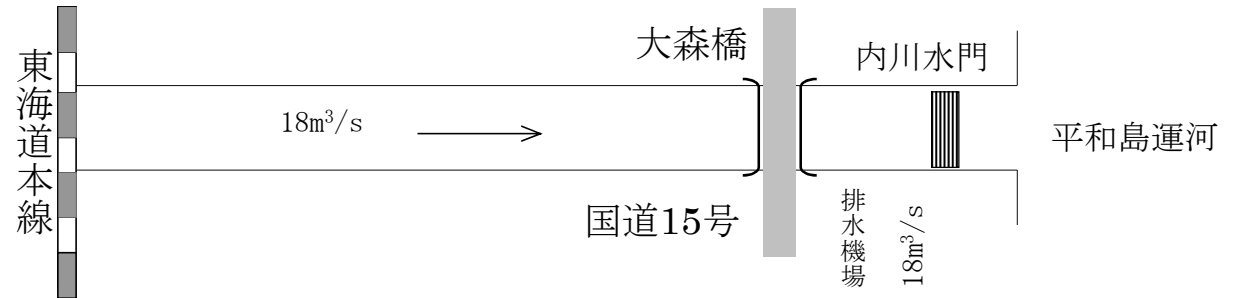
内川水門、内川排水機場および一部護岸は平成24年度策定の「東部低地帯の河川施設整備計画」にて耐震・耐水対策工事実施済み。

内川 整備箇所図

3. 河川整備の実施 —洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減—

洪水対策（変更なし）

- 洪水による災害の発生防止及び軽減に関しては、下水道から内川への放流量 $18\text{m}^3/\text{s}$ に対して安全であることとする。



高潮対策（変更なし）

- 昭和34年の伊勢湾台風と同規模の台風が東京湾及び主要河川に対して最大の被害をもたらすコースを進んだ時に発生する高潮（A.P. + 4.1m）に対して、安全であることを目標とする。

1 流域及び河川の概要

- ・内川流域の概要

2 河川整備の現状と課題

- ・過去の水害発生状況
- ・河川の整備状況

3 河川整備計画の目標及び実施に関する事項

- ・洪水、津波、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

4 **パブリックコメントの実施結果**

パブリックコメントの実施結果

< 意見聴取の実施概要 >

- 実施期間 : 令和5年10月16日～11月15日 (4週間)
- 実施方法 : 変更原案の公表、リーフレットの配布
- 実施場所 : 都庁河川部、都・建設事務所 (1箇所)、流域区 (2区)、都HP
※区広報への掲載等での情報提供により周知

< 提出意見 (総括) >

- 河川環境に関する事 1件
- その他 1件

合計2件

パブリックコメントの実施結果

寄せられた主な意見と回答（抜粋）

主な意見	回答（案）
◆河川環境に関すること	
<p>内川について。内川イコール自然なので、自然を学べる案内板の設置、未来に出来る事、ゴミを捨てない、適正に捨てることを意識させる案内板の設置。ホッとできる屋根付きベンチや花や木の植え込みあったら楽しいと思います。JRの線路下を通れるようにお願いします。若者がふざけて登って線路に出ている所を見ました。中央や馬込の住民は安全な通路ときれいな内川を楽しみにしております。</p>	<p>管理用通路の整備にあたっては、可能な箇所で地元関係機関と連携し、水辺に親しめる歩道としての利用に配慮しながら親水性の向上に努めてまいります。</p>